

令和4年度

# よこはま子ども 国際平和プログラム

報告書



令和5年3月

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会

協賛：株式会社オカムラ・横浜冷凍株式会社



# よこはま子どもピースメッセージ 2022



## Yokohama Children's Peace Message 2022

In February 2022, we learned on the news that war had begun in Ukraine. Images of buildings being destroyed and people trying to escape. Every day we are able to eat, go to school, study, talk with friends and family, and sleep without fear. Just a turn of the tap and as much safe water as we want comes pouring out. But, in that moment, we realized that that is far from the norm.

If you look around the world you notice that there are many problems. There are people who have lost their lives to war. There is still no end in sight to coronavirus infections. There are the large-scale disasters that come with global warming, food-related issues, children unable to get an education, and there are still many problems with discrimination and prejudice. These are not somebody else's issues; they are all of our issues.

Right now, what can we do about it? Be concerned about events that are happening. Learn about what is happening. Have a compassionate heart and accept the individuality of others. Hold your hand to your chest and think, in your heart, are you free of discrimination and prejudice? Then, use your creativity to take action locally that will lead to a sustainable future.

We all live under the same sky. We are all neighbors. We are one family living on the same earth. We'll cherish that feeling we get when someone is considerate of others and join hands to create a big circle of peace. It's no easy task, but we will make steady progress. It will be a long road, but we will never give up. If people around the world cooperate, we believe that we can overcome any obstacle. And, we will take action. For our future.

2022 Yokohama Children's International Peace Program Members

## よこはま子どもピースメッセージ2022

2022年2月、ウクライナで戦争が始まったことをニュースで知りました。爆破される建物や逃げ惑う人々の映像。私たちは、毎日食事をし、学校に行き、勉強をして、友達や家族と話し、安心して眠ることができます。水道をひねれば安全な水がいくらでもでできます。しかし、それが決して当たり前ではないということに気づかされた瞬間でした。

世界に目を向ければ課題がたくさんあることに気がつきます。戦争で命を奪われる人がいます。新型コロナウイルス感染症もまだ終わりは見えていません。地球温暖化に伴う大規模な災害、食料問題、教育を受けられない子どもたち、差別や偏見の問題もまだまだたくさんあります。これらの課題は他人事ではなくすべて自分たちの課題なのです。

今、私たちにできることは何でしょうか。起こっている出来事に対して関心をもつこと。何が起きているかを知ること。思いやりの心を持ち、相手の個性を認めること。自分の心の中に差別や偏見がないかを胸に手をあてて考えること。そして、想像力を働かせ、身近なことから行動して持続可能な未来へと繋げていくことです。

世界の空はつながっています。私たちはみんな仲間、同じ地球に住む家族です。誰かが誰かを想う気持ちを大切に、手と手をつないで大きな平和の輪を作っていきます。それは、決して簡単なことではありません。地道に積み上げていく長い道のりとなるでしょう。でも私たちは決してあきらめません。世界中の人が協力すれば、どんな壁だって乗り越えられると信じて行動します。私たちの未来のために。

令和4年度 よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員

この「よこはま子どもピースメッセージ2022」は、38名の子ども実行委員が自分たちができることを呼びかけようと意見を出し合って作成し、ニューヨークの国際連合本部等に届けました。

## 概要

本事業は、昭和 61 年度から平成 9 年度まで 12 回（12 年間）にわたって開催された「よこはま子ども国際平和フェスティバル」の趣旨を生かし、平成 10 年度に「よこはま子ども国際平和プログラム」と改めました。本市では、この事業を国際理解教育の一環として位置付け、横浜市内の児童生徒の国際平和への意識を高めるとともに、国際平和の大切さを市民をはじめ広く世界に呼びかけるために行っています。

令和 4 年度は「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員会」「よこはま子ども国際平和募金」「よこはま子どもピースメッセンジャーの国際連合派遣」などを新型コロナウイルス感染症の状況にも留意しつつ実施しました。こうした取組を行うことで“国際社会で自分たちのできること”を実践する機会を得ることができました。

## 「よこはま子ども国際平和プログラム」事業内容

### ● 「よこはま子ども国際平和プログラム」活動内容

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で各区の選考及び事務局審査を経て本選に出場した児童生徒 38 名全員が「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員」として委嘱され、活動を行います。

また、本選で市長賞を受賞した小学生 2 名、中学生 2 名は「よこはま子どもピースメッセンジャー」としても委嘱され活動を行います。

#### <令和 4 年度 子ども実行委員・ピースメッセンジャーの活動一覧>

日程	活動内容	子ども実行委員の活動	ピースメッセンジャーの活動
8 月	子ども実行委員・ピースメッセンジャー委嘱式、第 1 回子ども実行委員会	○	○
10 月	ユニセフ東京事務所・日本ユニセフ協会への訪問、ユニセフハウス施設見学		○
	ニューヨークの国際連合本部・ユニセフ本部・国連国際学校（UNIS）への訪問及び交流等		○
11 月	第 2 回子ども実行委員会	○	○
12 月	ユニセフハウス施設見学	希望者	希望者
	神奈川県ユニセフ協会「#あつまれ神奈川 2022 ハンドインハンドプロジェクト」への参加	○	○
	山中横浜市長への活動報告		○
1 月	横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会への参加		○
令和 5 年 7 月	よこはま子ども国際平和スピーチコンテストでの司会・前年度の活動報告		○
令和 5 年 8 月	子ども実行委員・ピースメッセンジャー委嘱式での司会（前年度小学校の部市長賞受賞者）		○

# ● よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

- 1 応募者数 41,620 名 (小学生 29,635 名 中学生 11,985 名)
- 2 参加校数 484 校 (小学校 338 校、中学校 146 校)
- 3 対象 横浜市内小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校
- 4 テーマ 「国際平和のために、自分がやりたいこと」  
(「SDGs」17の目標からスピーチに盛り込む視点を選択)
- 5 経過 令和4年4月下旬から 出場者募集  
5月中旬～6月中旬 スピーチ原稿作成・校内選考  
6月中旬～7月上旬 区審査会・事務局審査

## 6 本 選

- (1) 開催日 令和4年7月21日(木) 小学校の部 19名出場  
7月22日(金) 中学校の部 19名出場

※各区代表の児童生徒(各18名)及び事務局審査を通過した私立学校児童生徒(各1名)

- (2) 会場 南公会堂
- (3) プログラム ・スピーチ

・よこはま子どもピースメッセンジャー活動報告



★ 小学校の部 ★



★ 中学校の部 ★

### 市長賞 受賞者



### 教育長賞 受賞者



### 審査委員長賞 受賞者



●「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」本選出場者（子ども実行委員）一覧

<小学校の部>

市長賞	神奈川	西寺尾小学校	守 舞音	笑顔の輪を広げていきたい
	泉	岡津小学校	川泉 彩葉	みんなちがってみんないい ちがいがあからみんないい
教育長賞	都筑	北山田小学校	江澤 心美	北山田小学校から世界を変える
	私立	横濱中華學院	小林 慈月	思いやりからはじめよう
審査委員長賞	中	大鳥小学校	金子 愛琳	小さくなったくつに思いをのせて
	金沢	瀬ヶ崎小学校	白川 桃々	「あたりまえ」じゃない
優秀賞	鶴見	豊岡小学校	酒井 希愛	命と同じくらい大切な水だから
	西	稲荷台小学校	古屋 優希	相手の個性も自分の個性も
	南	日枝小学校	赤羽 綾華	手と手を取り合って生きる世界
	港南	桜岡小学校	笠羽 夏歌	一足の靴だけで
	保土ヶ谷	上菅田笹の丘小学校	小島 ちゆき	だれひとり取り残さない教育へ
	旭	さちが丘小学校	鈴木 希海	命をつなぐ移植
	磯子	梅林小学校	冬木 美紅	妹から世界を平和に
	港北	小机小学校	浪岡 奏亮	ぼくたちがあきらめたらそこで試合終了なんだ
	緑	霧が丘学園小学部	アグラワル アナニヤ	「架け橋」になりたい
	青葉	つつじが丘小学校	松井 亜音	〇〇らしさにとらわれず
	戸塚	鳥が丘小学校	萩尾 友香	思いやりから始まる平和
	栄	笠間小学校	早川 エセプレシャス	自分たちにできることから
	瀬谷	南瀬谷小学校	鈴木 紗羽	もったいないからはじめよう

<中学校の部>

市長賞	都筑	中川西中学校	杉山 美来	誰かのために小さな行動を
	戸塚	平戸中学校	松本 佳純	安心して過ごせる世界のために私ができること
教育長賞	保土ヶ谷	西谷中学校	井上 璃音	壁を乗り越えて
	泉	上飯田中学校	工藤 愛美	最美的盛开は正義（義）
審査委員長賞	金沢	富岡中学校	徳永 咲月	「いただきます」の意味を考える
	私立	公文国際学園	岡島 花蓮	英語の絵本で、全ての若者に夢を！
優秀賞	鶴見	生麦中学校	佐伯 凜	つなごう輪になろう
	神奈川	菅田中学校	菅原 佑月	平和への第一歩
	西	岡野中学校	深山 若葉	2000年後も木がある世界へ
	中	港中学校	石川 優陽	過去を知ること
	南	永田中学校	澁谷 福乃	世界中の人々が平和に暮らせるためには
	港南	日野南中学校	吉林 優奈	Peace will come
	旭	希望が丘中学校	星野 陽向	同じ人間なのに何故？
	磯子	岡村中学校	山本 眞生	世界を変える、そのために
	港北	新羽中学校	長瀬 るな	地球に優しい家
	緑	霧が丘学園中学部	荻原 優奈	音から知る世界
	青葉	青葉台中学校	宮崎 佑柊	自分らしく生きられる世界
	栄	小山台中学校	為田 萌希	満足な食事を世界に
	瀬谷	瀬谷中学校	露木 莉珠	一人ひとりが誰かのヒーロー

## ●子ども実行委員・ピースメッセンジャー委嘱式

令和4年8月18日(木) 横浜市庁舎レセプションルーム

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の本選に出場した38名が、「子ども実行委員」として山中市長から委嘱を受けました。なお、市長賞受賞者小学生2名、中学生2名は、「よこはま子どもピースメッセンジャー」としても委嘱を受けました。



## ●「子ども実行委員」の活動

### ★子ども実行委員会

子ども実行委員会を開催し、国際平和への思いをまとめた「よこはま子どもピースメッセージ2022」や「よこはま子ども国際平和募金呼びかけ動画」の作成などを行いました。

### 第1回 令和4年8月18日(木)

#### 「よこはま子どもピースメッセージ2022」の作成

作成したピースメッセージは、国際連合本部、国連児童基金（ユニセフ）本部、国連日本政府代表部に進呈するとともに、市内小・中・義務教育・特別支援・外国人学校等に配布する報告書に掲載しました。



### 第2回 令和4年11月28日(月)

#### 「よこはま子ども国際平和募金」呼びかけ動画の作成、ピースメッセンジャー活動報告、講演「世界の食料問題について」（国際連合世界食糧計画 WFP 協会）

作成した募金呼びかけ動画は、市立小・中・義務教育・特別支援学校及び私立学校の子ども実行委員所属校へ公開し、各学校における国際平和への取組の中で活用されました。



★日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」施設見学



都内にある日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」に子ども実行委員の有志が訪問して、世界の子どもの現状を学び、国際平和について考えました。  
実施日：令和4年12月10日(土)  
参加人数：小学生13名、中学生9名

★「よこはま子ども国際平和募金」の呼びかけと神奈川県ユニセフ協会「#あつまれ神奈川 2022 ハンドインハンドプロジェクト」への参加

「よこはま子ども国際平和募金」の呼びかけ動画を作成して横浜市内の学校に公開しました。また、各学校でも平和募金の呼びかけを行いました。

令和4年12月には、誰ひとり取り残さない世界にするために大切だと思うことを「すべての子どもに〇〇を」の〇〇にあてはめて平和への思いを伝える動画を作成し、神奈川県ユニセフ協会のホームページで公開することで募金を呼びかけました。



★子ども実行委員等の各学校での取組

- ◎国際平和募金活動でユニセフ募金など各種募金の呼びかけ
- ◎全校集会・学年集会・校内での掲示・学校だより等での発信
  - ・スピーチやピースメッセージについて
  - ・SDGs や世界の現状について
  - ・子ども実行委員及びピースメッセンジャーの活動について など
- ◎その他の取組



あいさつ運動（週間での運動や世界の言語での運動など）／クリーン大作戦（清掃活動）／  
ふわふわ言葉（言われると嬉しくなる言葉）を書いたおみくじの作成／  
SDGsの目標に関する紙芝居の発表／服を回収して難民の子どもに送る活動／  
給食の食品ロスを減らすための「給食好き嫌いアンケート」の実施／  
環境改善に役立つ「カイロ回収プロジェクト」への参加／  
環境に配慮した石鹸を制作し、その売上を環境問題に取り組む団体へ寄付する活動／  
ペットボトルキャップの回収と支援団体への送付／  
「未来のためにできること」を考え共有する取組の企画／  
「人権の木（私が考える平和な世界とは）」の制作 など



## ★子ども実行委員が活動を通して感じたこと

- 今まで知らなかった世界の現状を学ぶことができました。自分自身の恵まれた環境にありがたさを感じるとともに、世界で苦しんでいる子どもたちのために、私ができることを少しでもやらなければと思いました。小さなことの積み重ねが大きな力に変えられる活動を、これからも実践していきたいと思います。
- 世界の現状、多くの人が抱える問題、改善のために行動している方々など、今まで自分とはあまり関係が無いだろうと思っていたことが、子ども実行委員になったことで、自分事として捉えられるようになり、自分には何ができるのだろうかと考え動くことが必要だと思うようになりました。
- 私の働きかけが誰かの行動を後押しできると感じて嬉しくなりました。小さなことでも笑顔を増やしていけると分かったので、もっと行動していきたいと感じました。
- 子ども実行委員の活動を通して「SDGsの目標に向かって行動しているのは僕だけじゃない。」と感じました。だからこそ、身近な問題に取り組めるチャンスを見つけた時には、積極的に参加していこうと思います。
- ユニセフハウスの施設見学では、生まれた国が違うだけで子どもたちの生活にこんなにも差があるのかと胸を痛めました。「誰一人取り残さない」ために、早く世界中が平和になってほしいと思いました。
- 中満泉さんの「いきなり国際平和とせず、身近なことから始めていってほしい。」という言葉は、これから声かけを広めていくためのはげみになりました。
- 世界には日々の生活すらままならない人がいることを広く伝えていく必要があると感じました。卒業まで残りわずかな時間ですが、自分ができる活動をしっかりと行っていきます。
- 自分の考えをまとめて文章にしていく際に、社会の現状を知り心が苦しくなりました。改めてすべての人々が幸せな生活を送ってほしいと強く感じました。
- ユニセフ募金活動をきっかけに、全校のみんながユニセフのことに興味をもってくれると良いなと思いました。「小さなこともみんなできれば大きな力になる」ということが証明できた良い活動になりました。
- 活動を通して自分が知っていた「世界の現状」はほんの一部だったことに気づかされました。「知る」だけでなく「動く」ことにもつながっていき、世界の平和に少しずつ貢献していきたいです。
- 世界の現状についての情報（知識）を、他の人に「伝える」ということも頑張っていきたいです。
- SDGsを達成することはとても大変なことだと思うけど、今の世界を変えていこうとしている仲間に出会って必ず達成できる、達成しなければいけないと感じました。
- 私の発表を聞いて「自分もやってみよう」と思う人が増えてくれたら嬉しいです。
- たくさんの方が募金に協力してくれました。多くの方が誰かの力になろうと考えてくれていることを知ることができて嬉しくなりました。
- 人と実際に会って話し、悩んでいる人や差別されている人がいないかを自分たちの目で確かめることが大切だと思いました。
- 「子ども実行委員活動報告書」を作成する中で、自分自身が学んだこと、感じたことをまとめ直すことができ、自分の中にとどめておかず、全校にシェアすることができて達成感を感じました。
- これからも国際問題を社会に発信し、世の中を変えていく影響を与えていきたいです。
- スピーチを発表したり学校での取組を行ったりした後で、友達から「考えるきっかけになった。」「一人一人違う事に気づかされた。」など温かいメッセージをもらいました。任期が終わっても国際平和に向けて自分ができることに精一杯取り組んでいこうと思いました。
- 募金活動では、たくさんの方の思いを募金と一緒に集めて、世界を変える一歩を踏み出したように感じました。
- たとえ解決方法や捉えた視点がそれぞれ違ったとしても、平和への願いや叶えたい思いは皆同じなのだとすることを強く感じました。
- 私の発表を聞いて「手話って難しいのかな。」などと興味をもってくれた人もいたので、今後も今の自分にできる活動をしていきたいと思いました。
- SDGsの活動の重要性や平和を求めて行動することの大切さを、一人でも多くの人に考えてもらえるよう、これからも発信していきたいです。
- より多くの人に自分事として世界で起きている問題に興味をもってもらえるよう、私自身も興味をもち続け、それを自分の言葉で広めていきたいです。

## ●「よこはま子どもピースメッセンジャー」の活動

### ★ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会への訪問

訪問日：令和4年10月3日(月)

参加者：「よこはま子どもピースメッセンジャー」小学生2名・中学生2名

内容：(1) ユニセフ東京事務所 代表 ロベルト・ベネス 氏と会談

※令和3年度「よこはま子ども国際平和募金」(8,841,519円)

の目録と「よこはま子どもピースメッセージ2022」を進呈

(2) 日本ユニセフ協会 学校事業部長 金子 雅彦 氏と会談、ユニセフハウス施設見学



### ★ニューヨークの国際連合本部・ユニセフ本部・国連国際学校（UNIS）への訪問及び交流等

派遣期間：令和4年10月18日(火)～10月24日(月)

派遣者：「よこはま子どもピースメッセンジャー」小学生2名・中学生2名

主な活動：(1) 国際連合本部・ユニセフ本部等へ訪問

○「よこはま子どもピースメッセージ」を発表・伝達

○山中横浜市長から国連事務総長あてのメッセージを進呈

○令和3年度「よこはま子ども国際平和募金」(8,841,519円)の目録を進呈

○関係者との対談

- ・ 国際連合食糧農業機関（FAO） 部長 ガンゾウ・クー 氏
- ・ 国連環境計画 国連事務総長補佐 マリア・リギア・ノロンハ 氏
- ・ 国際連合事務次長 グローバルコミュニケーション担当  
メリッサ・フレミング 氏
- ・ 国連国際学校 事務総長特別代表、国際連合フィールド支援担当 国連事務総長補佐  
リサ・ブッテンハイム 氏
- ・ 国連教育科学文化機関（ユネスコ） シニアリエゾン&プログラムオフィサー  
リリー・グレイ 氏
- ・ 国際連合事務次長 軍縮担当上級代表 中満 泉 氏
- ・ 国連児童基金（ユニセフ）本部 副部長 イサ・アコバ 氏
- ・ 国連日本政府代表部大使 次席常駐代表 山中 修 氏

(2) 国連国際学校への体験入学・交流



国際連合事務次長



国連総会ホール



国連児童基金（ユニセフ）



国際連合軍縮担当上級代表



国際連合食料農業機関（FAO）



国連国際学校（UNIS）



国連日本政府代表部

### ★山中横浜市長への活動報告

実施日： 令和4年12月20日(火)  
 内 容： ピースメッセンジャーの活動を報告



### ★横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会（児童生徒の部）への参加

参加日： 令和5年1月25日(水)【小学校】、1月27日(金)【中学校】  
 内 容： ピースメッセンジャーの活動を報告



## ●「よこはま子ども国際平和プログラム」実行委員会

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の運営をはじめ、「よこはま子ども国際平和プログラム」の全体の活動を支援するために、市内の公私立小・中・義務教育・特別支援学校の校長先生に御協力をいただき、実行委員会を設置しています。活動内容は次の通りです。

第1回 令和4年4月13日(水)

- ・実行委員会設置
- ・事業内容の審議

第2回 令和4年7月7日(木)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」実施案の審議
- ・よこはま子どもピースメッセンジャー、子ども実行委員の活動について
- ・よこはま子ども国際平和募金について

第3回 令和4年7月21日(木)、22日(金)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の運営・審査

第4回 令和5年3月10日(金)

- ・令和4年度よこはま子ども国際平和プログラム活動報告
- ・今年度の成果と課題（次年度に向けた検討事項）

### 令和4年度「よこはま子ども国際平和プログラム」実行委員会

職名	氏名	役職
委員長	増田 昌浩	横浜市立中学校長会会長・南が丘中学校長
副委員長	内藤 伸人	横浜市私立小学校長代表・捜真小学校長
委員	葛 蔵造	横浜市私立中学高等学校長協会代表・横浜中学校・高等学校長
	大塩 啓介	横浜市立小学校長会会長・獅子ヶ谷小学校長
	長尾 一	横浜市立特別支援学校長会会長・盲特別支援学校長
	齋藤 容二	横浜市立小学校長会 多文化共生・国際教室研究部代表・帷子小学校長
	鈴木 薫	横浜市立中学校長会代表・篠原中学校長
	石川 隆一	教育委員会事務局学校教育企画部長
事務局長	根岸 淳	教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課長

# 「よこはま子ども国際平和フェスティバル」及び「よこはま子ども国際平和プログラム」事業経過

## 昭和61年度（1986）

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催（新都市ホール）
- ・平和に関する作文、絵画、歌（作詞・作曲）作品募集
- ・「子ども平和大使」国際連合派遣
- ・アフリカ難民救済基金（7,000ドル）

## 昭和62年度（1987）

- ・「よこはま子ども洋上平和フェスティバル」開催
- ・「国際平和学習資料」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による福祉活動・募金活動の実施

## 昭和63年度（1988）

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合及びユニセフ派遣（募金7,959,917円寄託）
- ・世界の平和についての作文募集
- ・「世界の平和についての作文集」作成・配布

## 平成元年度（1989）

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜博覧会YESホール）
- ・世界の国々の児童生徒との交流（国連国際学校より招待）
- ・世界平和をテーマにしてポスター募集
- ・世界の飢餓に苦しむ子供たちのための啓発・援助活動

## 平成2年度（1990）

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・ユニセフ東京事務所長チョードリ氏に高秀市長立ち合いのもと、募金を寄託（4,674,407円）
- ・「子ども平和会議」（パシフィコ横浜）
- ・ボンベイ市、マニラ市、上海市からの児童生徒を招待、交流
- ・マスコットマーク募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

## 平成3年度（1991）

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・ペレツ・デクエアル国際連合事務総長へ募金を寄託（6,688,238円）
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「子ども平和会議」（パシフィコ横浜）
- ・バンクーバー市、サンティエゴ市及び国連国際学校の児童生徒を招待、交流
- ・マスコットマークの愛称募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

## 平成4年度（1992）

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合・ユニセフ本部派遣
- ・コフィ・アナン国際連合事務次長補へ募金を寄託（8,200,271円）
- ・「子ども平和会議」（横浜シンボジア）
- ・リヨン市、オデッサ市、コンスタンツァ市の児童生徒を招待、交流
- ・「子ども平和まつり」（横浜文化体育館）
- ・「ペレツ・デクエアル前国際連合事務総長講演会」（パシフィコ横浜）
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

## 平成5年度（1993）

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合・ユニセフ本部派遣
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金などを直接手渡す（8,754,208円）
- ・「ピースメッセンジャー都市子ども平和ミニ会議」開催（国連国際学校）
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

## 平成6年度（1994）

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」リヨン市・国際連合派遣
- ・「よこはまーリヨン平和のモザイク」の共同制作
- ・「よこはまーリヨン子ども平和会議」の開催
- ・「横浜市ーリヨン市姉妹都市提携35周年記念式典」に参加
- ・「よこはまーリヨン子ども平和会議」の開催
- ・「第9回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による平和募金活動

## 平成7年度（1995）

- ・フェスティバル10周年 戦後50年 国連創設50周年記念事業
- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（6,804,535円）
- ・「よこはま子ども平和会議」開催（横浜シンボジア）
- ・「第10回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（国立横浜国際会議場）
- ・国連国際学校生徒・国連関係者招待
- ・シルビア・ファーマン国際連合事務総長特別補佐官特別講演
- ・横浜国立大学附属横浜小学校児童大合唱 組曲「よこはまからあしたへ」（神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏）
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・よこはま子ども国際平和フェスティバル第10回・戦後50年記念パネル展
- ・「すいとん試食会」開催

## 平成8年度（1996）

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（8,268,762円）
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（パシフィコ横浜小ホール）
- ・「よこはま子ども平和会議」開催（横浜シンボジア）
- ・「第11回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（国立横浜国際会議場）
- ・オデッサ市副市長及び第35学校生徒・教職員招待
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル〜よこはまから世界へ〜」ビデオ製作・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動

#### 平成9年度（1997）

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（7,758,052円）
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（神奈川公会堂、保土ヶ谷公会堂、戸塚公会堂）
- ・「第12回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催  
（国立横浜国際会議場）
- ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・「平和行進曲」彫刻展協賛
- ・国連職員コーラス団受入れ支援

#### 平成10年度（1998）

- ・「よこはま子ども国際平和プログラム」へ名称変更
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（予選：各区／本選：教育文化ホール、西公会堂）
- ・「よこはま青少年ピースメッセンジャー」青少年サミット派遣  
（イギリス・バーミンガム市）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（7,923,996円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成11年度（1999）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（予選：各区／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（5,393,708円）
- ・「子ども国際交流団」リヨン市派遣 横浜市～リヨン市姉妹都市提携40周年記念式典に参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成12年度（2000）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（18,791,996円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成13年度（2001）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦（サムエル・クー）氏と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（13,503,054円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議への参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー会議」の開催 「子どもピースアピール」の作成
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成14年度（2002）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦（サムエル・クー）氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（14,661,177円）
- ・「Say Yes for Children イン ヨコハマ～ユニセフ親善大使ロジャー・ムーア氏を迎えて～」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成15年度（2003）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（各区審査会／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦（サムエル・クー）氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（12,712,435円）
- ・「よこはま国際子ども食料会議」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成16年度（2004）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（各区審査会／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会、国連広報センター訪問 駐日事務所長 浦元 義昭氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見。中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（10,787,935円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動
- ・「スマトラ沖大地震・インド洋津波被害救援募金」の呼びかけ

#### 平成17年度（2005）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（各区審査会／本選：保土ヶ谷公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問。駐日事務所長 浦元 義昭氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
マーク・マロックブラウン国際連合事務総長官房長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（14,129,319円）
- ・「パキスタン大地震被害救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成18年度（2006）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
（各区審査会／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所長 浦元 義昭氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（14,534,847円）
- ・「ジャワ島地震救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成 19 年度 (2007)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 ダン・ローマン日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
アン・ベネマン ユニセフ事務局長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す (17,331,049 円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成 20 年度 (2008)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ダン・ローマン兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
アジャ・ローズ・ミギロ国際連合副事務局長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す (16,992,563 円)
- ・「ミャンマー・サイクロン・中国大地震緊急募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

#### 平成 21 年度 (2009)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 功刀 純子 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す (17,569,151 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 22 年度 (2010)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す (12,307,325 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 23 年度 (2011)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す (12,832,231 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 24 年度 (2012)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す (11,002,673 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 25 年度 (2013)

- ・「第5回アフリカ開発会議」横浜開催に関連して、「よこはま子どもピースメッセンジャー」等による首脳会議参加各国の首脳・閣僚の出迎え、横浜市議会会議場でのペナン共和国ソマホン・ルフィン駐日特命全権大使の演説に対する御礼の言葉と花束贈呈等
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す (11,245,358 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 26 年度 (2014)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
ファ・ジャン広報局担当官と会見。林市長メッセージと募金目録を直接手渡す (9,541,620 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 27 年度 (2015)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
クリスティーナ ギャラチャー広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 坂井スオミ 事務局最高顧問に募金目録を直接手渡す (9,767,656 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 28 年度 (2016)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
潘 基文 国連事務総長に林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 オレン・シュライン 事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す (9,578,214 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

#### 平成 29 年度 (2017)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 山口郁子事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す (9,773,765 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

### 平成30年度(2018)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ファトゥマタ・ンジャエ事務所次長に募金目録を直接手渡す(9,914,494円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

### 令和元年度(2019)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
ジョアン・マクドナルド国連事務総長特別代表(国連国際学校)と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ハナン・スリエマン副代表及びファヤツ・キング副代表に募金目録を直接手渡す(9,869,608円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

### 令和2年度(2020)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、よこはま子ども国際平和募金活動以外は中止

### 令和3年度(2021)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:ビデオ審査)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合オンライン交流  
中満 泉 国際連合軍縮担当上級代表と会見 ピースメッセージを渡す
- ・ユニセフ本部 バロマ・エスケテロ コミュニケーション局長及び功刀 純子 公的パートナーシップ局長に募金目録を渡す(7,570,984円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

### 令和4年度(2022)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催  
(各区審査会/本選:南公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ロベルト・ヘネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣  
メリッサ・フレミング国際連合事務次長と会見  
山中市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 イサ・アコハ副部長に募金目録を直接手渡す(8,841,519円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動



発行

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会事務局  
横浜市教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課内

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 TEL 045-671-3588

この事業は、株式会社オカムラ様・横浜冷凍株式会社様の御協力をいただいで実施しています。